

ちがさ貴族 波の精霊
えぼし麻呂 & ミーナ



茅ヶ崎市における居住支援 の取組について

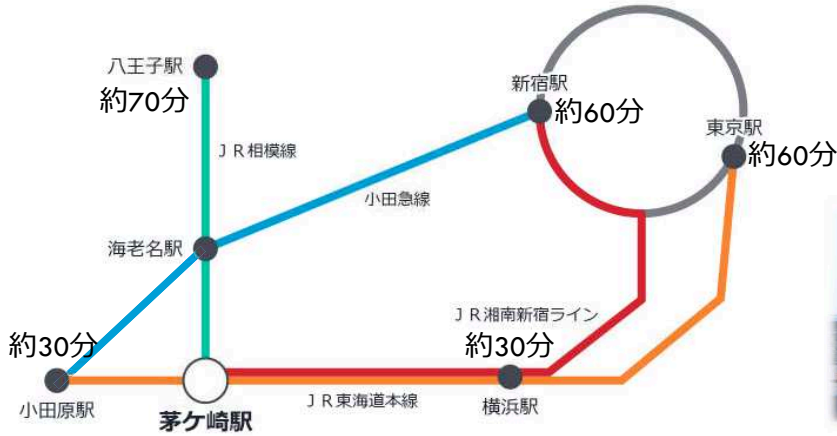
茅ヶ崎市 都市政策課
住宅政策担当

茅ヶ崎市の紹介



茅ヶ崎市の紹介

面積	35.76km ²	(東西約7km、南北約8km)
人口	243,835人	(令和4年1月1日現在)
世帯	104,552世帯	(令和4年1月1日現在)



茅ヶ崎市住まいづくり アクションプラン

- ◆住宅政策を進めるための行動計画（10年計画）
- ◆建築物としての「住宅」ではなく、
住宅で営まれる生活を含む「住まい」に着目
- ◆様々なライフステージに応じた住まい方ができるまちを
めざしていく。



🏠 住まいと暮らしのセーフティネットの構築

居住支援

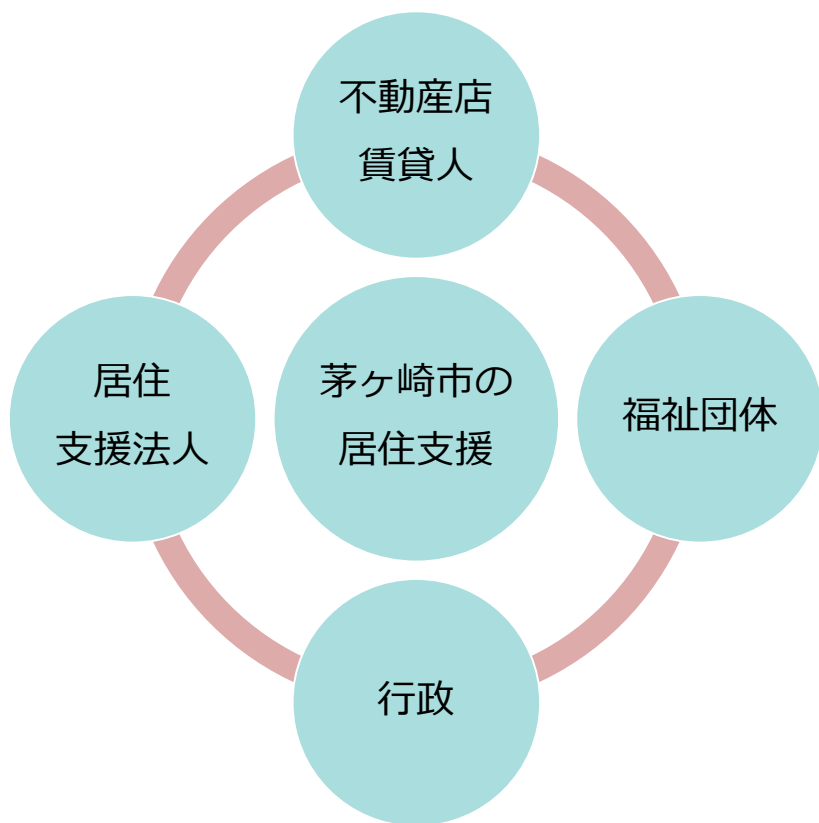
茅ヶ崎市の住宅確保要配慮者数

- ◆平成27年国勢調査及び平成30年住宅・土地統計調査による公営の借家以外の賃貸住宅に居住する世帯を、年収別世帯数等から推計
- ◆賃貸住宅に居住する世帯のうち **約17%** が住宅確保要配慮者になる可能性がある
- ◆公営住宅入居世帯も住宅確保要配慮者になり得る



茅ヶ崎市の居住支援
(現在まで)





連携が必要

7

取組の経過

- ◆平成28年度 「住まいの相談窓口」開設
➡居住支援のニーズを把握
- ◆令和元年度～ 茅ヶ崎市の居住支援のあり方について検討
➡不動産事業者・福祉関係団体等へアンケート・ヒアリング
- ◆令和3年度 「茅ヶ崎市版居住支援モデル」開始
➡相談を3分類に分けて対応モデルを確立

8

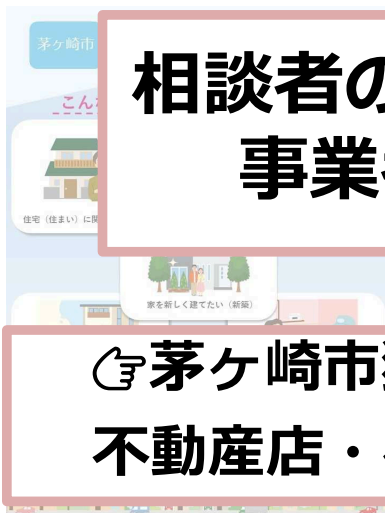
住まいの相談窓口



- ・平成29年1月に設立
- ・住まいに関するあらゆる相談の窓口
- ・年間の相談件数は約180件（R2年度まで）
- ・「居住支援」に関する相談は全体の3割ほど



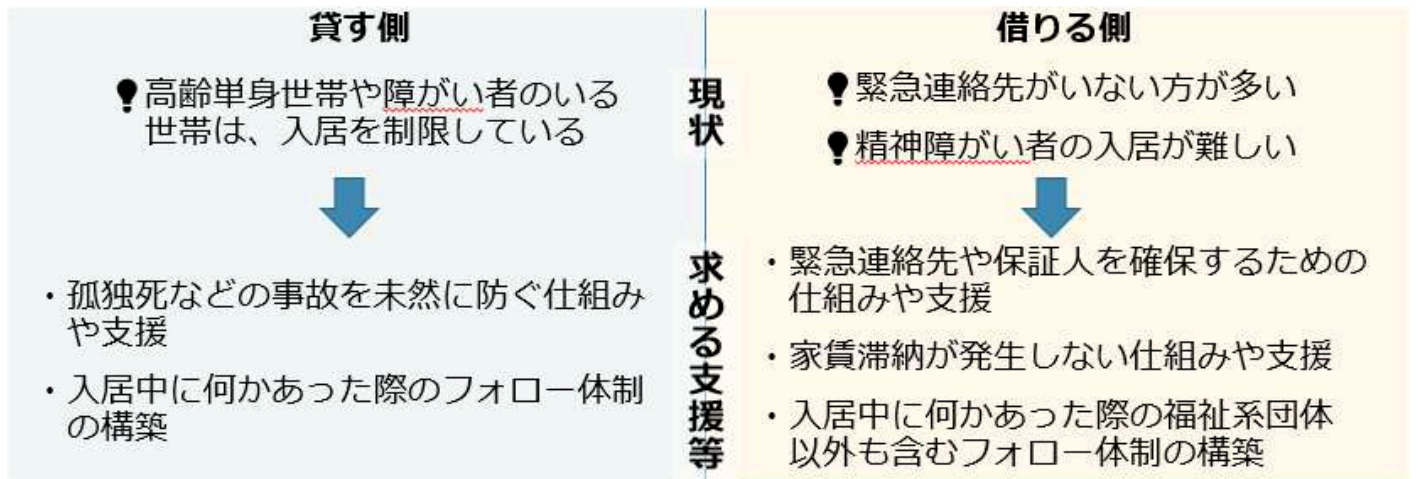
住まいの相談窓口



相談者のニーズは把握できたが、事業者等の本音を知らない

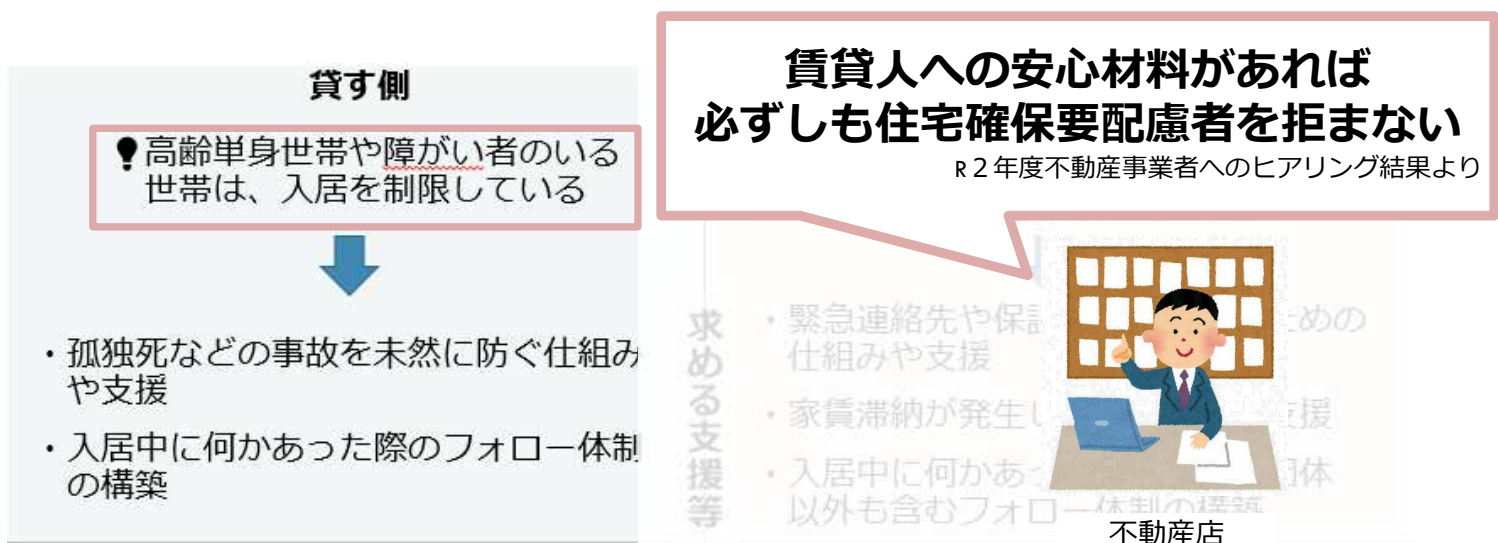
**茅ヶ崎市独自の居住支援施策の検討するため
不動産店・福祉関係団体へアンケート等を実施**

アンケート・ヒアリング



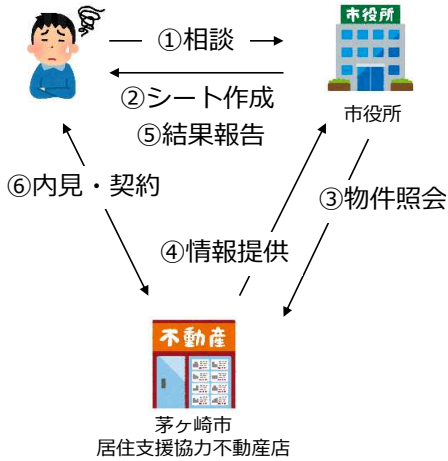
※R元年度不動産店・福祉関係団体等へのアンケート取りまとめより

アンケート・ヒアリング



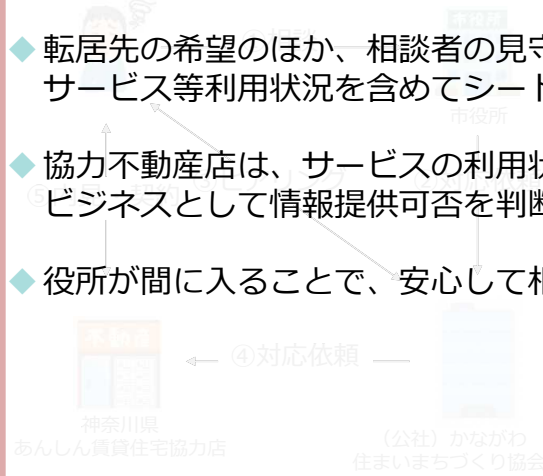
茅ヶ崎市版居住支援モデル

①市内や近隣市町へ転居希望

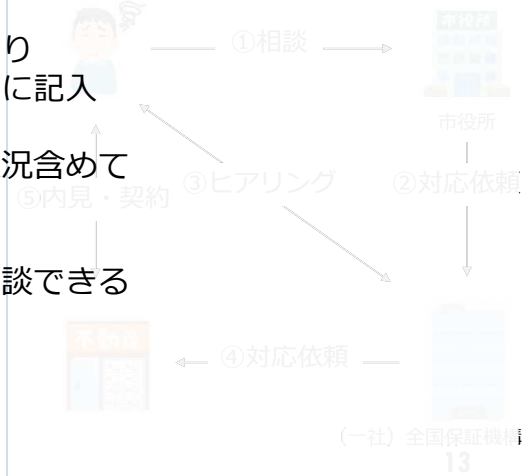


- ◆ 転居先の希望のほか、相談者の見守りサービス等利用状況を含めてシートに記入
- ◆ 協力不動産店は、サービスの利用状況含めてビジネスとして情報提供可否を判断
- ◆ 役所が間に入ることで、安心して相談できる

②県内の離れた場所へ転居希望

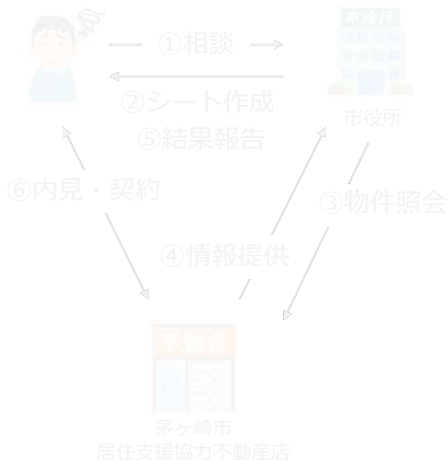


③左記対応不可

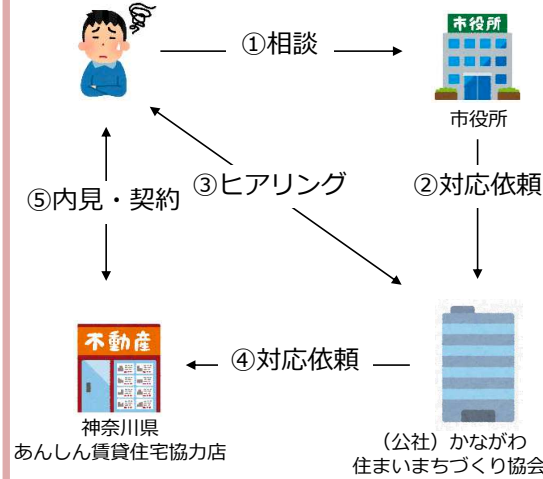


茅ヶ崎市版居住支援モデル

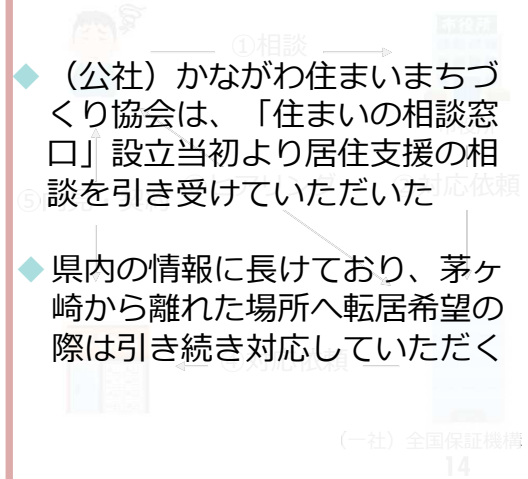
①市内や近隣市町へ転居希望



②県内の離れた場所へ転居希望

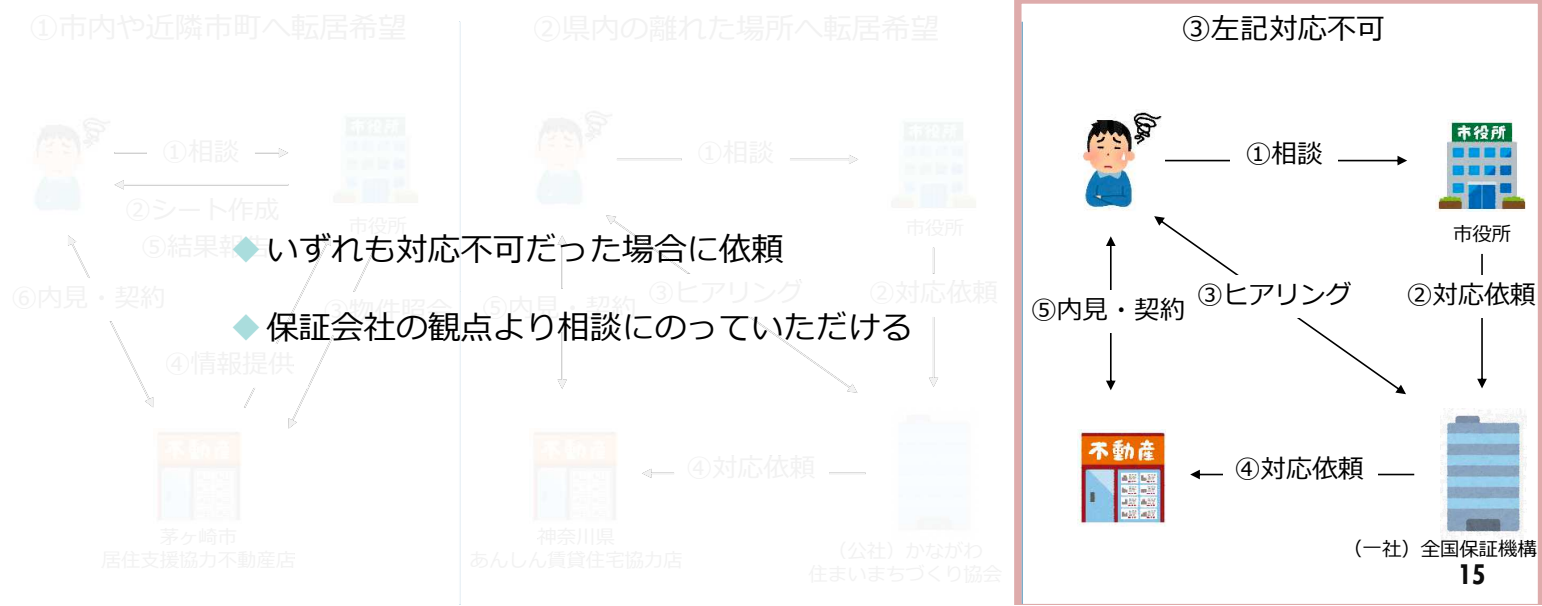


③左記対応不可

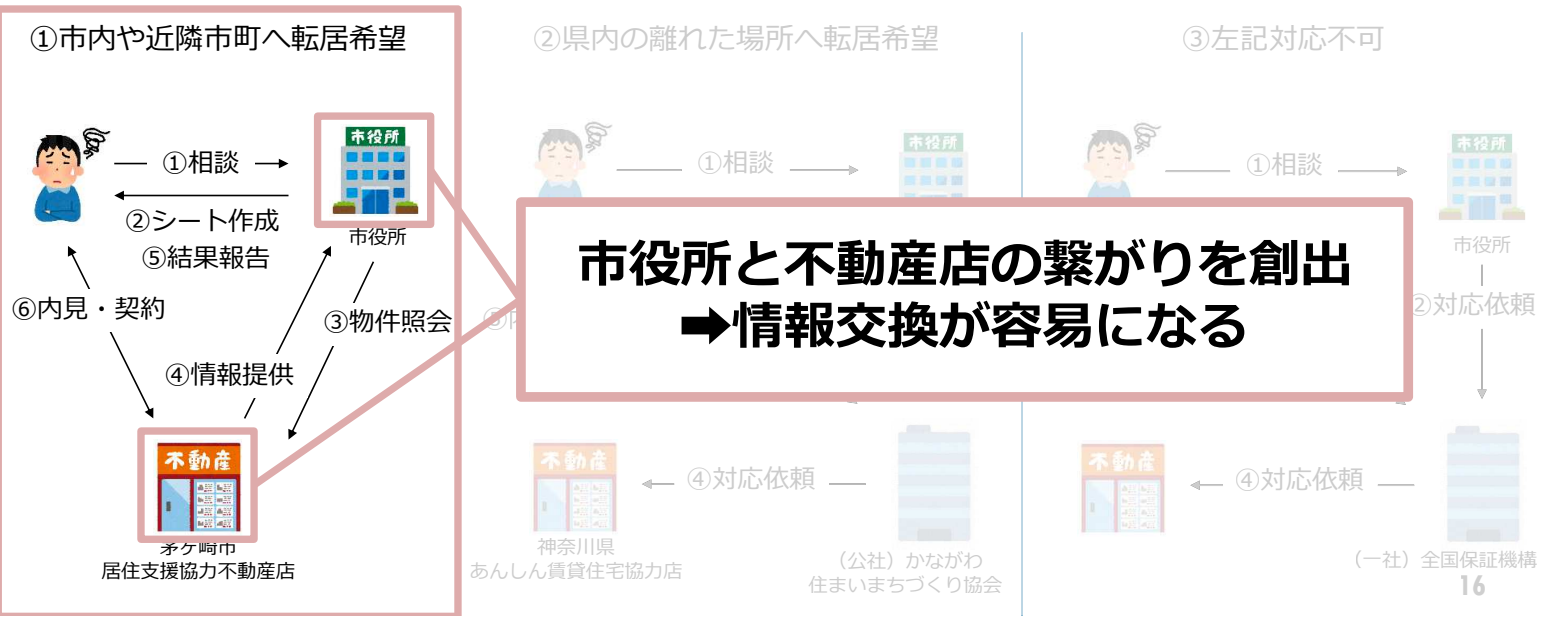


- ◆ (公社) かながわ住まいまちづくり協会は、「住まいの相談窓口」設立当初より居住支援の相談を引き受けていただいた
- ◆ 県内の情報に長けており、茅ヶ崎から離れた場所へ転居希望の際は引き続き対応していただく

茅ヶ崎市版居住支援モデル

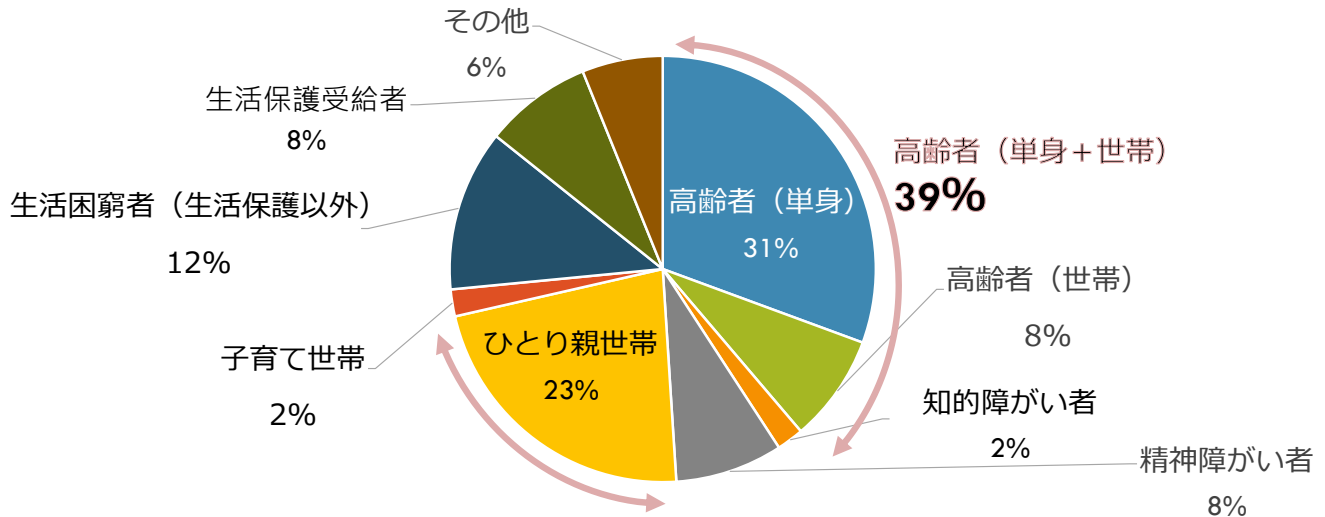


茅ヶ崎市版居住支援モデル



茅ヶ崎市版居住支援モデル —実績—

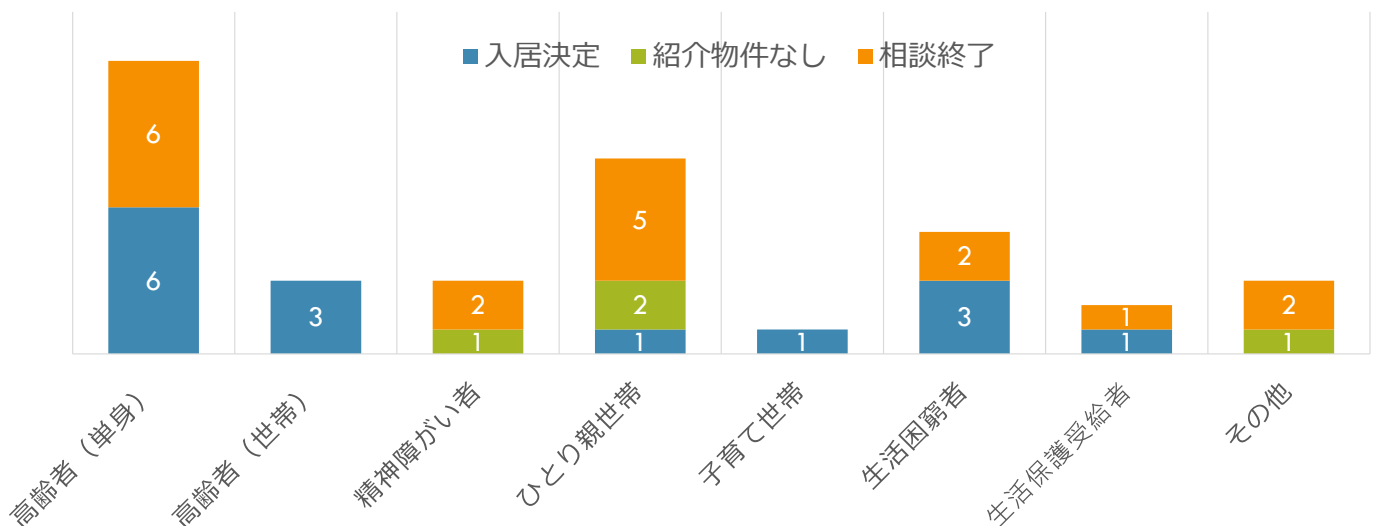
◆相談者属性比（令和4年1月21日現在 相談件数49件）



17

茅ヶ崎市版居住支援モデル —実績—

◆相談者属性別相談結果（令和4年1月21日現在 対応済37件）



18

茅ヶ崎市版居住支援モデル —課題が発覚した事例—

- ◆ 未成年未婚の母
➡ 成人とみなすことができず、本モデルでは物件紹介できず
- ◆ 80代高齢者夫婦
➡ 民間賃貸住宅に入居できたものの、ケアマネ判断で施設へ
- ◆ 70代母・40代娘（障害者手帳あり）
➡ 転居後の生活を含めてコーディネート必要？

19

茅ヶ崎市版居住支援モデル —課題が発覚した事例—

まちづくり部局のみでは判断が難しい

- ◆ 80代高齢者夫婦
➡ 民間賃貸住宅に入居できたものの、ケアマネ判断で施設へ
- ◆ 70代母・40代娘（障害者手帳あり）
➡ 転居後の生活を含めてコーディネート必要？

20

茅ヶ崎市版居住支援モデル

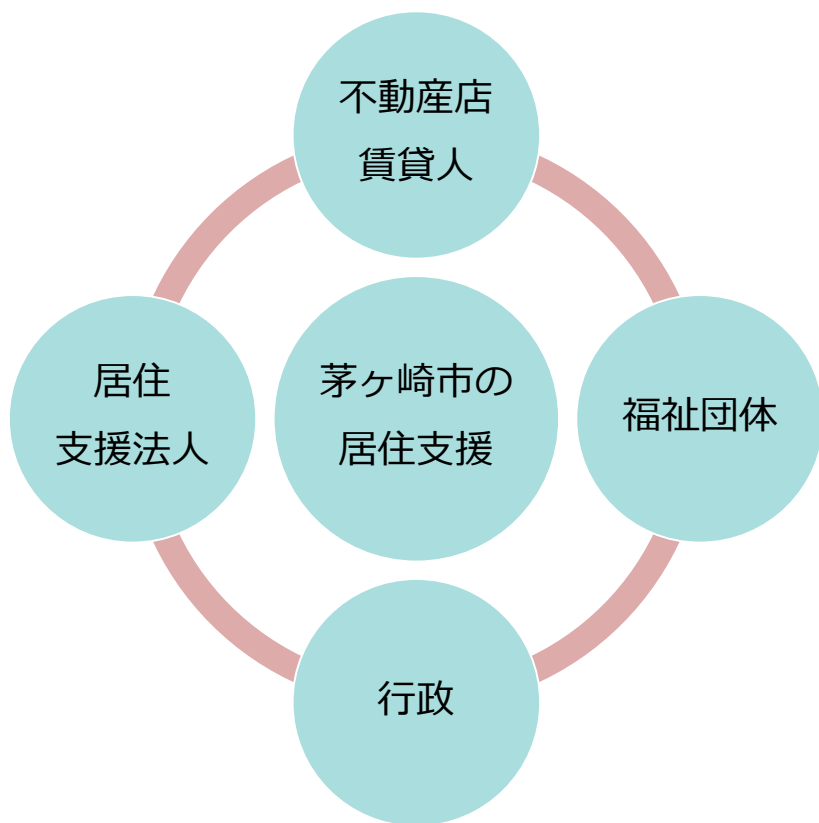
—現在の課題—

◆住宅を見つけた後の生活に対する支援へお繋ぎできていない



※R元年度店・福祉関係団体等へのアンケート取りまとめより 21

茅ヶ崎市の居住支援の取組 (今後)



連携が必要



居住支援
協議会設立

23

茅ヶ崎市居住支援協議会の設立①

- ◆住宅確保要配慮者に関わる不動産事業者・団体・行政が入居後の生活支援等について情報交換や協議が可能

➡既存の事業等を組み合わせる生活支援

- ◆会員として参加することで、それぞれ担当者が変わっても人に帰属することなく、一元的な居住支援が実現可能

➡どこに相談しても相談者目線できめ細やかに対応



24

茅ヶ崎市居住支援協議会の設立②

- ◆窓口対応で必要に応じて各部局へお繋ぎすることと併せて、会員予定の方にお集まりいただき意見交換会や設立準備会を開催

🏠 居住支援協議会設立の基盤づくり

R3.10.21 意見交換会（先進事例の勉強会、質疑応答等）



R3.11.16 設立準備会（各立場からの意見交換）



25

茅ヶ崎市居住支援協議会の設立③

- ◆令和4年4月設立予定

- ◆会員は、以下を予定

- ・茅ヶ崎市居住支援協力不動産店
- ・社会福祉法人、居住支援法人
- ・行政職員（福祉部局、こども部局、保健所、住宅部局）

**誰もが安心して地域で住み続けられるよう
住まいと暮らしのセーフティネット構築を目指していく**

26

ご清聴ありがとうございました。

ちがき興族 波の精霊
えぼし麻呂 & ミーナ

